

# 令和4年度市町民経済計算の概要

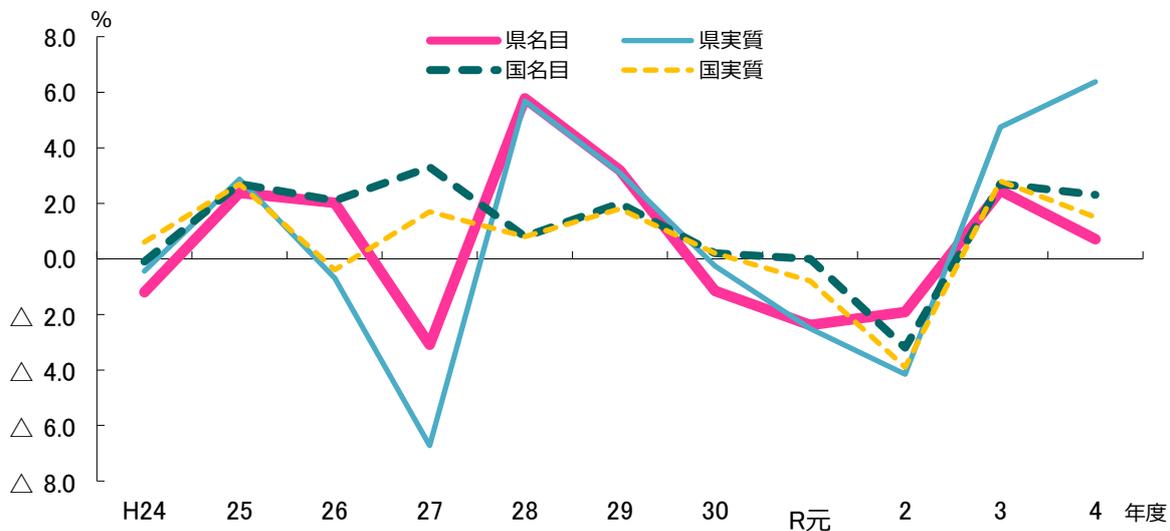
## 1 令和4年度山口県経済の概況

令和4年度の本県経済は、輸送用機械、一次金属が増加したこと等により、県内総生産（名目）は6兆3,062億円、経済成長率は0.7%増と2年連続で増加した。実質経済成長率は、6.4%増と2年連続で増加した。

県民所得は、企業所得が増加したことにより、1.4%増と2年連続で増加した。

なお、県民所得を山口県の総人口で除した1人当たり県民所得は306万9千円となり、前年度の299万2千円と比べて2.6%の増となった。

第1図 経済成長率の推移



第1表 経済成長率の推移

経済成長率	H24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4
山口県 (名目)	△1.2	2.4	2.0	△3.1	5.8	3.2	△1.2	△2.4	△1.9	2.5	0.7
山口県 (実質)	△0.4	2.9	△0.7	△6.7	5.7	3.1	△0.3	△2.5	△4.2	4.7	6.4

## 2 市町内総生産

### (1) 市町内総生産

令和4年度の市町内総生産は、県全体で6兆3,062億円となった。

この市町別分布を県全体に占める割合（以下「全県比」という。）により、A（全県比5%以上）、B（同1%以上5%未満）、C（同1%未満）の3グループに分類したものが第2-1表である。

これをみると、Aグループには山口市、下関市、周南市、宇部市、防府市、光市、岩国市、山陽小野田市の8市が属している。

上位8市町の市町内総生産は、県全体の86.3%を占めており、その人口は県全体の82.3%を占めている。

また、Bグループには、Aグループの8市以外の5市が、Cグループには残る6町が属している。

第2-1表 令和4年度市町内総生産の分布状況

(単位:百万円、%)

グループ	市町数	総生産	同左比率	市町名								
A 全県比5%以上の市町	8	5,439,653	86.3 (82.3)	山口市	15.9	(14.6)	下関市	15.6	(18.9)	周南市	14.9	(10.3)
				宇部市	9.3	(12.2)	防府市	8.6	(8.5)	光市	8.5	(3.7)
				岩国市	8.1	(9.6)	山陽小野田市	5.4	(4.5)			
B 全県比1%以上5%未満の市町	5	742,213	11.8 (13.9)	下松市	4.3	(4.2)	萩市	2.1	(3.3)	柳井市	2.0	(2.3)
				長門市	1.8	(2.4)	美祢市	1.6	(1.7)			
C 全県比1%未満の市町	6	124,381	2.0 (3.9)	田布施町	0.7	(1.1)	周防大島町	0.6	(1.1)	平生町	0.5	(0.9)
				阿武町	0.2	(0.2)	上関町	0.1	(0.2)	和木町	0.0	(0.4)

注) 市町名の次の数字は市町内総生産の全県比で、( )内は人口の全県比である。

## (2) 市町内総生産の対前年度増加率

令和4年度の総生産対前年度増加率は、県全体で0.7%の増となった。

この総生産対前年度増加率を市町別に、A(対前年度増加率10%以上)、B(同0%以上10%未満)、C(同0%未満)の3グループに分類したものが第2-2表で、さらに総生産の増減に寄与した産業を製造業、建設業、その他に分類したものが第2-1図である。

これをみると、11市町において対前年度増加率がプラスとなっている。このうち、対前年度増加率が10%以上となっているのは、製造業が大幅に増加した光市(25.2%)、防府市(11.9%)である。

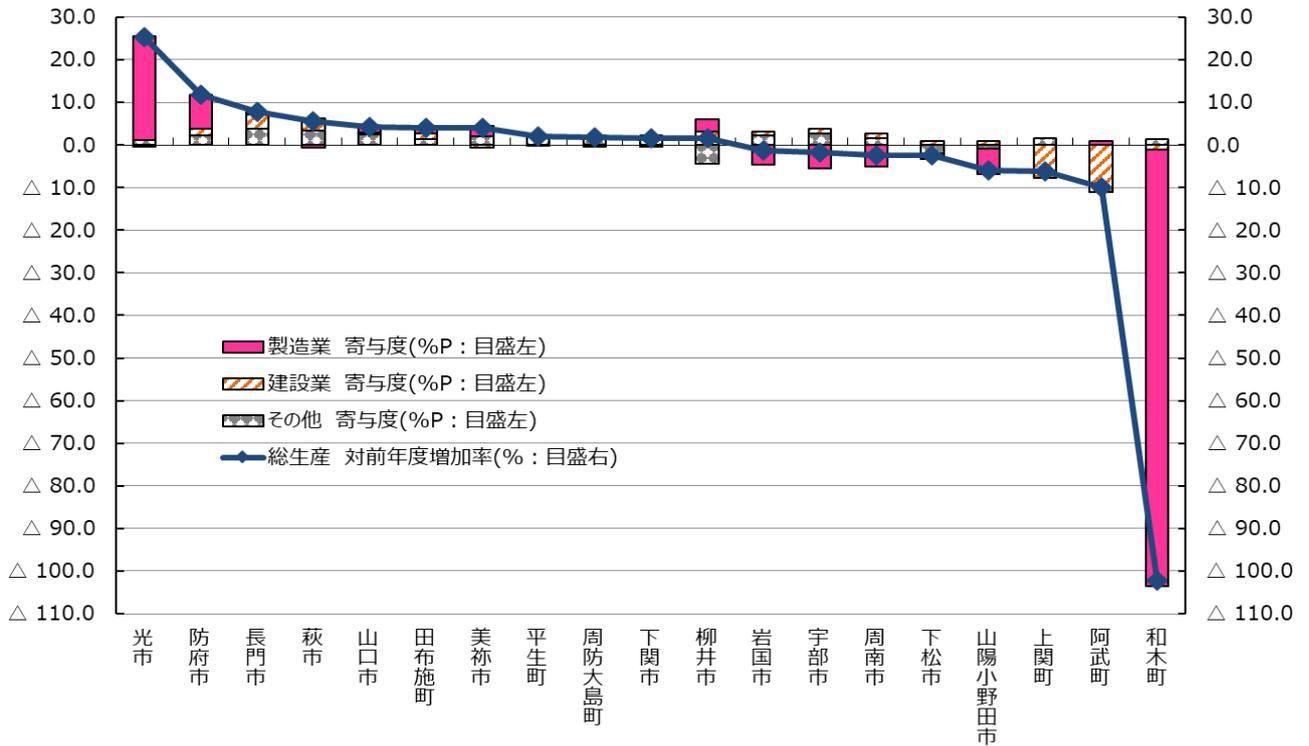
一方、8市町において、対前年度増加率がマイナスとなっている。これは、製造業や建設業等の落ち込みが主たる要因となっている。

第2-2表 令和4年度市町内総生産の対前年度増加率

(単位:%)

グループ	市町数	市町名									
A 増加率10%以上の市町	2	光市	25.2	防府市	11.9						
B 増加率0%以上10%未満の市町	9	長門市	7.9	萩市	5.5	山口市	4.3	田布施町	4.1	美祢市	3.9
		平生町	2.0	周防大島町	1.7	下関市	1.7	柳井市	1.6		
C 増加率0%未満の市町	8	岩国市	△ 1.4	宇部市	△ 1.8	周南市	△ 2.5	下松市	△ 2.5	山陽小野田市	△ 6.0
		上関町	△ 6.2	阿武町	△ 10.0	和木町	△ 102.3				

第2-1図 令和4年度市町内総生産の対前年度増加寄与度



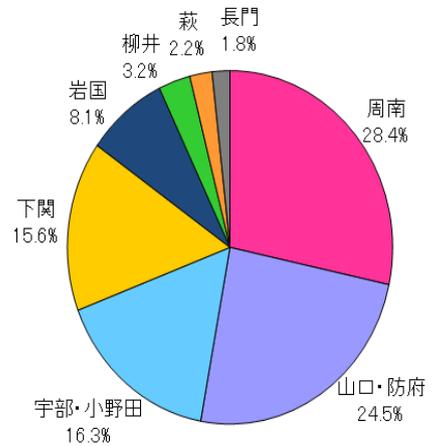
(3) 地域別市町内総生産

令和4年度の市町内総生産を地域別にみると(第2-3表及び第2-2図)、周南地域が1兆7,898億円と最も大きく(全県比28.4%)、以下、山口・防府地域(同24.5%)、宇部・小野田地域(同16.3%)と続いている。一方、最も小さいのは長門地域の1,109億円(同1.8%)となっている。

第2-3表 令和4年度地域別市町内総生産

地域区分	令和3年度		令和4年度		令和4年度 産業別構成比		
	実数	全県比	実数	全県比	1次	2次	3次
	百万円	%	百万円	%	%	%	%
岩国	646,561	10.3	509,073	8.1	0.6	34.3	65.0
柳井	196,517	3.1	199,316	3.2	1.1	23.4	75.5
周南	1,711,342	27.3	1,789,825	28.4	0.2	62.2	37.6
山口・防府	1,446,074	23.1	1,545,447	24.5	0.6	34.2	65.2
宇部・小野田	1,057,974	16.9	1,029,416	16.3	0.6	39.8	59.6
下関	965,804	15.4	981,905	15.6	0.9	32.3	66.8
長門	102,840	1.6	110,923	1.8	4.4	32.6	62.9
萩	134,610	2.1	140,342	2.2	4.5	20.9	74.6
県計	6,261,722	100.0	6,306,247	100.0	0.7	42.1	57.2

第2-2図 令和4年度地域別市町内総生産の全県比



注) 産業別構成比は、市町内総生産から輸入品に課される税・関税、総資本形成に係る消費税を除いたものを100として計算している。

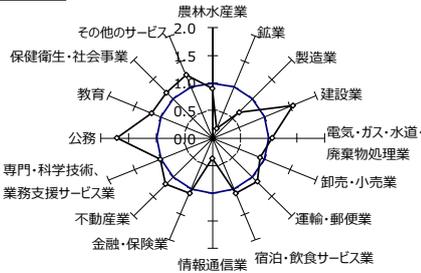
(参考1) 特化係数からみた地域別産業構造

特化係数からみた令和4年度の地域別産業構造を表したのが第2-3図である。

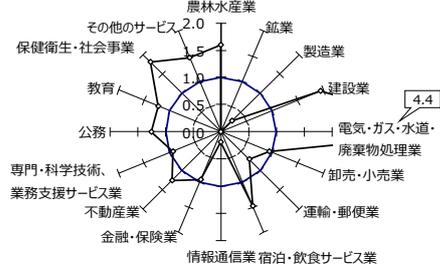
特化係数とは、各地域の総生産の産業別構成比を県の総生産の産業別構成比で除したもので、ある産業の特化係数が1.0を超えていれば、その地域は県に比べ相対的にその産業に特化しているといえる。

第2-3図 令和4年度特化係数からみた地域別産業構造

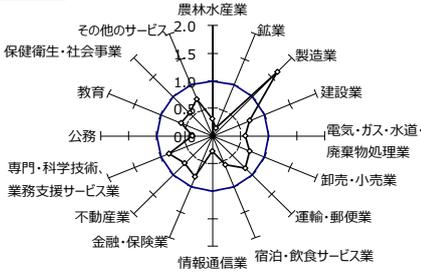
岩国地域



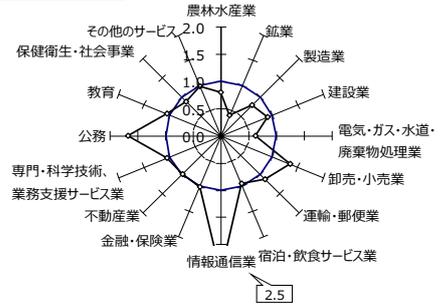
柳井地域



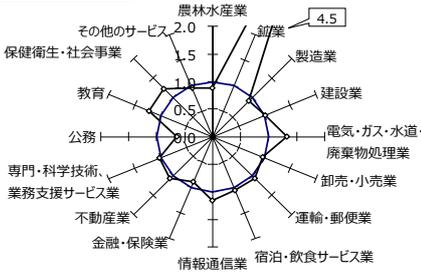
周南地域



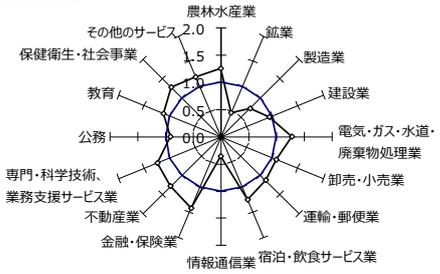
山口・防府地域



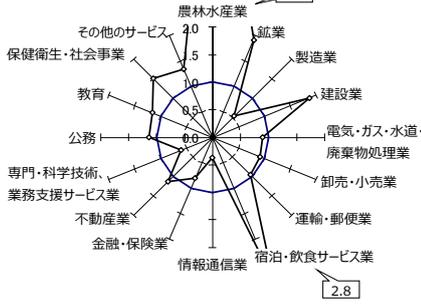
宇部・小野田地域



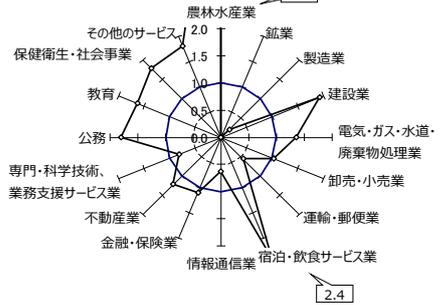
下関地域



長門地域



萩地域



### 3 市町民所得（分配）

#### （1）市町民所得

令和4年度の市町民所得は、県全体で4兆292億円となった。

この市町別分布を、全県比により、A（全県比5%以上）、B（同1%以上5%未満）、C（同1%未満）の3グループに分類したものが第3-1表である。

Aグループには下関市、山口市、周南市、宇部市、岩国市、防府市の6市が属しており、市町民所得全体の76%を占めている。Bグループには山陽小野田市など7市が、Cグループには残る6町が属している。

9市町において、前年度に比べ市町民所得は増加している。これは、企業所得の増加が主たる要因となっている。一方、10市町において、前年度に比べ市町民所得は減少している。これは雇用者報酬や企業所得の減少が主たる要因となっている。

第3-1表 令和4年度市町民所得の分布状況

（単位：百万円、%）

グループ	市町数	市町民所得	同左比率	市 町 名					
A 全県比5%以上の市町	6	3,062,181	76.0	下関市	18.5 (4.6)	山口市	15.0 (2.8)	周南市	13.6 (1.6)
				宇部市	11.4 (△2.6)	岩国市	9.0 (△0.2)	防府市	8.6 (4.5)
B 全県比1%以上5%未満の市町	7	851,186	21.1	山陽小野田市	4.7 (4.5)	下松市	4.7 (0.6)	光市	4.3 (△0.6)
				萩市	2.3 (△2.8)	柳井市	1.9 (△0.1)	長門市	1.9 (0.4)
				美祿市	1.4 (1.4)				
C 全県比1%未満の市町	6	115,816	2.9	田布施町	0.9 (△2.0)	平生町	0.6 (△0.7)	周防大島町	0.6 (△6.9)
				和木町	0.4 (△28.5)	阿武町	0.1 (△1.3)	上関町	0.1 (9.9)

注) 市町名の次の数字は市町民所得の全県比で、( )内は市町民所得の対前年度増加率である。

#### （2）人口1人当たり市町民所得

令和4年度の人口1人当たり市町民所得は、県平均で306万9千円となった。

この平均値を100として各市町の水準を指数化し、A（100以上）、B（90以上100未満）、C（80以上90未満）、D（80未満）の4グループに分類したものが第3-2表である。

これをみると、県平均を上回るAグループには6市が属している。

第3-2表 令和4年度人口1人当たり市町民所得の分布状況

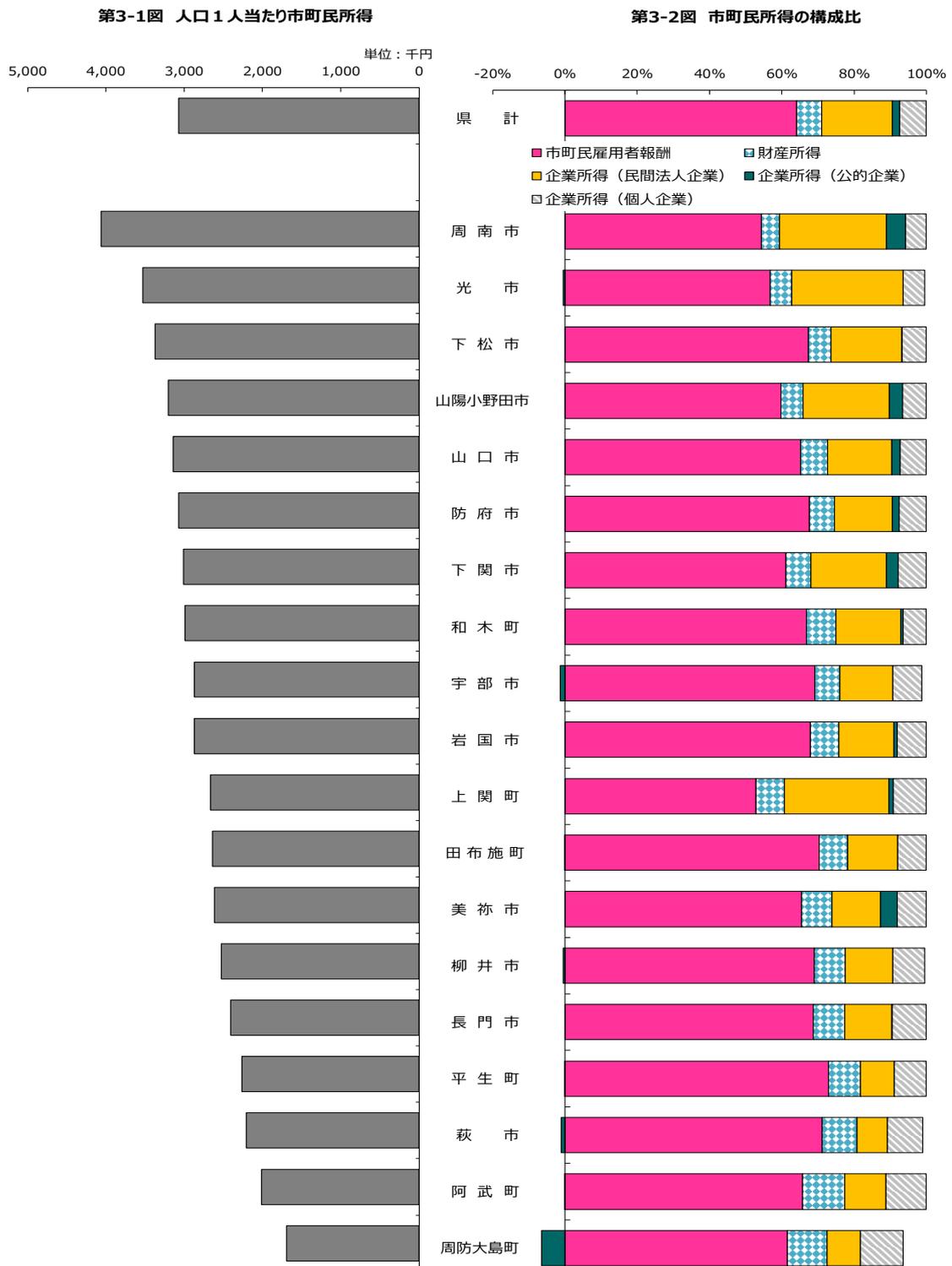
※県平均を100とした場合の指数

グループ	市町数	市 町 名									
A 100以上	6	周南市	132.3	光市	115.0	下松市	109.8	山陽小野田市	104.4	山口市	102.4
		防府市	100.0								
B 90以上100未満	4	下関市	98.0	和木町	97.5	宇部市	93.5	岩国市	93.5		
C 80以上90未満	4	上関町	86.9	田布施町	86.0	美祿市	85.1	柳井市	82.3		
D 80未満	5	長門市	78.4	平生町	73.8	萩市	72.0	阿武町	65.6	周防大島町	55.1

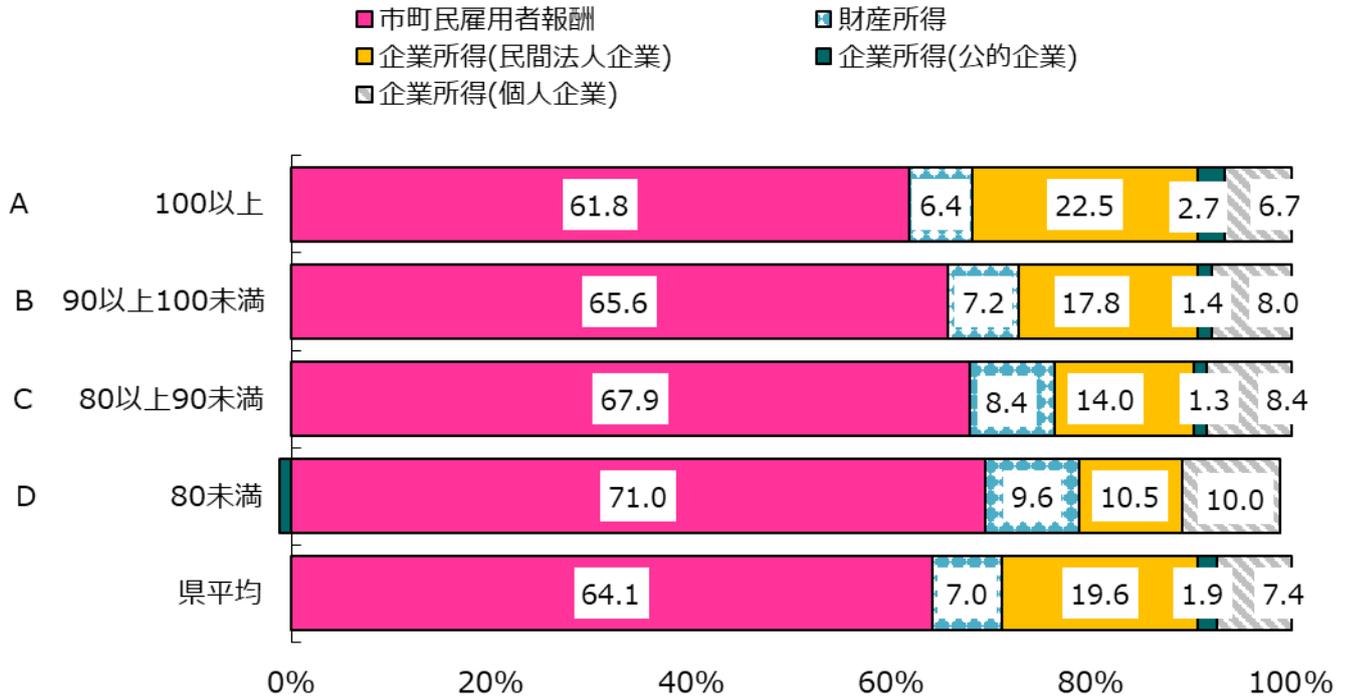
次に、第3-1図、第3-2図において、市町ごとの人口1人当たり市町民所得と市町民所得の構成比を示している。

これをグループ化した第3-3図で見ると、Aグループでは、他のグループに比べて企業所得（民間法人企業）の占める割合が高くなっており、Dグループでは、財産所得及び企業所得（個人企業）の占める割合が高くなっている。

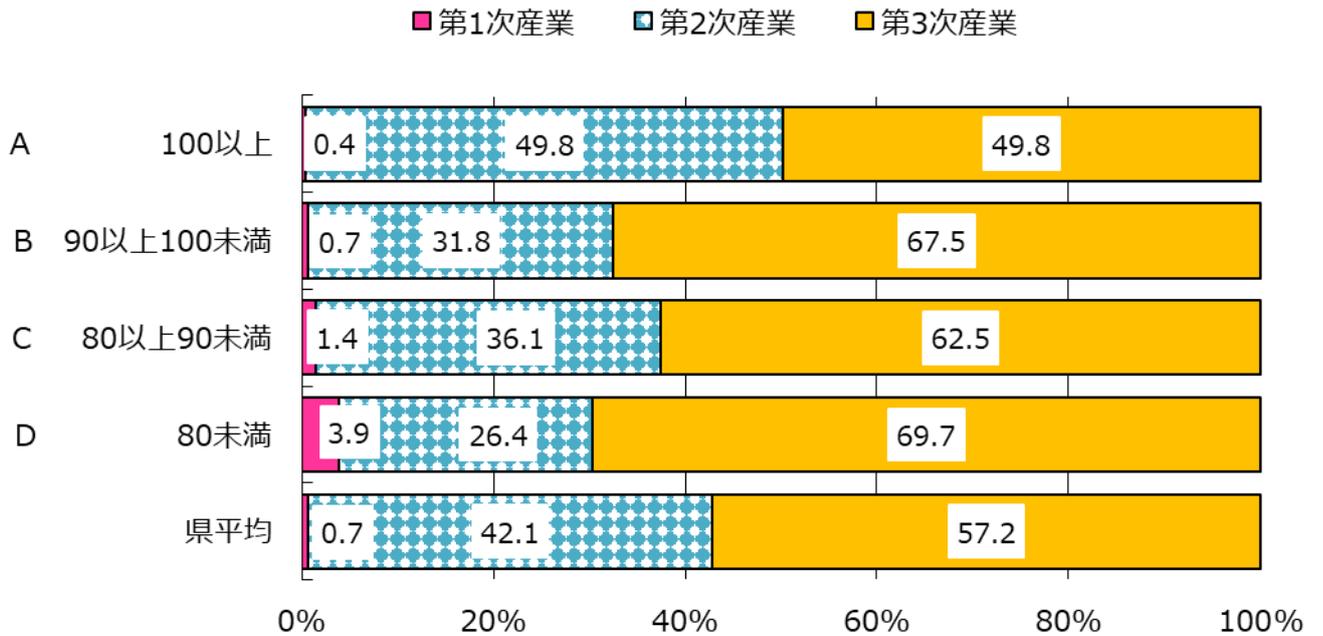
また、第3-4図から総生産の産業別構成比との関連をみると、Aグループでは、他のグループに比べて第2次産業の占める割合が高くなっている。



第3-3図 人口1人当たり市町民所得階層別の分配所得の構成比



第3-4図 人口1人当たり市町民所得階層別の総生産の構成比



### (3) 地域別市町民所得（分配）

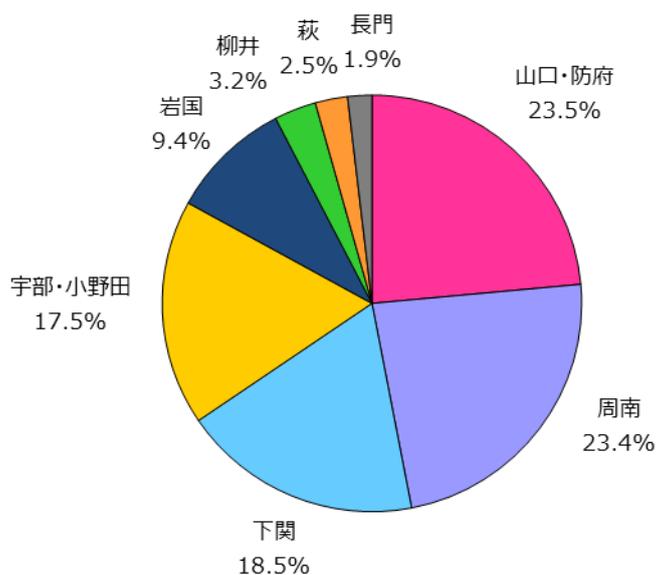
令和4年度の市町民所得を地域別にみると（第3-3表及び第3-5図）、山口・防府地域が9,483億円と最も大きく（全県比23.5%）、以下、周南地域（同23.4%）、下関地域（同18.5%）と続いている。一方、最も小さいのは長門地域の749億円（同1.9%）となっている。

次に、人口1人当たり市町民所得をみると（第3-4表）、最も大きいのは周南地域の372万7千円（県平均を100とした場合の指数121.4）で、次いで山口・防府地域（同101.5）と続いている。一方、最も小さいのは萩地域の219万6千円（同71.6）となっている。

第3-3表 令和4年度地域別市町民所得

地域区分	令和3年度		令和4年度	
	実数	全県比	実数	全県比
	百万円	%	百万円	%
岩国	386,251	9.7	378,537	9.4
柳井	132,232	3.3	130,750	3.2
周南	936,141	23.6	944,194	23.4
山口・防府	916,774	23.1	948,333	23.5
宇部・小野田	709,024	17.9	705,647	17.5
下関	713,450	18.0	746,353	18.5
長門	74,594	1.9	74,891	1.9
萩	103,267	2.6	100,478	2.5
県計	3,971,733	100.0	4,029,183	100.0

第3-5図 令和4年度地域別市町民所得の全県比



第3-4表 令和4年度地域別人口1人当たり市町民所得

地域区分	令和3年度		令和4年度	
	実数	県平均との比較 (注)	実数	県平均との比較 (注)
	千円		千円	
岩国	2,895	96.8	2,875	93.7
柳井	2,257	75.4	2,277	74.2
周南	3,663	122.4	3,727	121.4
山口・防府	2,995	100.1	3,115	101.5
宇部・小野田	2,910	97.3	2,928	95.4
下関	2,834	94.7	3,007	98.0
長門	2,346	78.4	2,405	78.4
萩	2,212	73.9	2,196	71.6
県平均	2,992	100.0	3,069	100.0

注) 県平均を100として各地域の水準を指数化している。